

# 〔庄内地区実践記録〕



# ○次世代の地域づくり中核人材育成事業

## 1 事業計画

### (1) 組織

＜青年ファシリテーター＞

○伊藤 大貴氏（合同会社 dano）

○難波 竜次氏（合同会社 dano）

○東北公益文科大学学生 2名

### (2) 目的

三川町中高生ボランティアサークル来夢来人は59名という多くの会員が所属しており、毎年活発な活動が継続的に行われている。また参加している中高生たちの地域や自分たちの活動に対する意識もとても高い。しかし、活発な活動が行われている反面、自分たちでボランティア活動を企画、運営した経験はまだないという現状がある。そのため、今年度の次世代の地域づくり中核人材育成事業を通して中高生に「企画力」と「運営力」を身に付けていくことを目的とし事業を展開していく。

### (3) 内容及び実施方法

	実施事業	期 日	内 容	備 考
第 一 弾	担当者との 打ち合わせ会①	4月12日(水)	○来夢来人の現状確認	テオトル
	担当者との 打ち合わせ会②	4月24日(月)	○第1回総会で話す次世 代事業内容確認	
	第1回来夢来人総会	4月29日(土)	○次世代事業の説明	
	ファシリテーター 実行委員会①	5月2日(火)	○次世代の進め方の確認	オンライン
	担当者との 打ち合わせ会③	5月8日(月)	○顔合わせ会に向けての 打ち合わせ	テオトル
	第1回企画会議	5月14日(日)	○企画検討 ・アイデア出し	
	担当者との 打ち合わせ会④	5月25日(木)	○顔合わせ会の内容 ○第2回企画会議に向け て	
	第2回企画会議	6月3日(土)	○企画検討 ・イベント開催日の決定	
	ファシリテーターとの 顔合わせ会と交流会	6月24日(土)	○顔合わせ会と交流 ・子育て支援センターで ボランティア活動	テオトル、 子育て支援 センター
	第3回企画会議	7月23日(日)	○企画準備 ・イベント内容の準備	テオトル
みかわ町納涼祭	8月26日(土)	○納涼祭でイベントの実 践	いろり火の 里	
第 二 弾	担当者との 打ち合わせ会⑤	8月28日(月)	○第2弾の進め方につい て	テオトル
	ファシリテーター 実行委員会②	9月17日(日)	○第2弾の方向性の検討	三川町公民 館
	担当者との 打ち合わせ会⑥	10月10日(火)	○第4回企画会議の日程 調整	テオトル
	担当者との 打ち合わせ会⑦	11月24日(金)	○第2弾の進め方の変更 について	庄内教育事 務所執務室
	担当者との 打ち合わせ会⑧	12月6日(木)	○紹介冊子の内容につい て	庄内教育事 務所執務室
	第4回企画会議	12月11日(月)	○第2弾の進め方の提 案・検討	テオトル
	担当者との 打ち合わせ会⑨	1月11日(木)	○三川町の補助金申請に 向けて	テオトル
第5回企画会議	1月15日(月)	○紹介冊子のページ作成	テオトル	

## 2 各種会議

	会議名	日時	内容
第一弾	ファシリテーター 実行委員会①	5月2日(火) 19:00～ 20:30	○事業説明 ・来夢来人の現状 ・今年度の進め方
	第1回企画会議	5月14日(日) 9:00～ 12:00	○企画検討 ・アイデア出し
	第2回企画会議	6月3日(土) 9:00～ 12:00	○企画検討 ・活動実施日確定(みかわまち納涼祭) ・活動内容の検討
	ファシリテーターとの 顔合わせ会と交流会	6月24日(土) 9:00～ 12:00	○顔合わせ会 ・自己紹介 ・子育て支援センター訪問 ○交流会 ・レクリエーション
	第3回企画会議	7月23日(日) 9:00～ 12:00	○企画準備 ・役割分担 ・みかわまち納涼祭の準備
第二弾	ファシリテーター 実行委員会②	9月17日(日) 9:00～ 11:00	○第2弾の進め方の確認 ・みかわまち納涼祭の活動の振り返りに ついて
	第4回企画会議	12月11日(月) 18:30～ 20:00	○第2弾の方向性の検討 ・三川町で活躍する若者団体の活動紹介 冊子を作成し、小・中学校に配布する
	第5回企画会議	1月15日(月) 18:30～ 20:00	○紹介冊子作成作業 ・担当ページの作成

### 【ファシリテーター実行委員会①】

来夢来人のこれまでの活動状況や、今年の次世代の進め方の方向性を共有した。

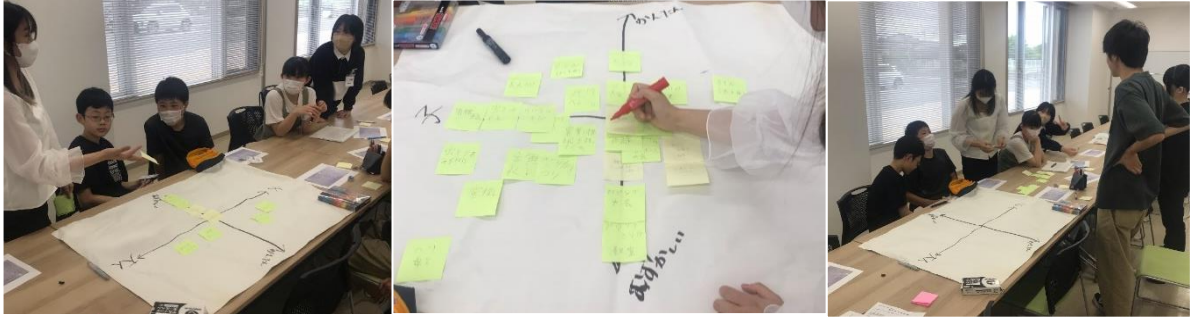
### 【第1回企画会議】

付箋を活用し、アイデア出しを行った。「自分たちが企画したイベントを実施する」という方向で決定した。



## 【第2回企画会議】

前回の企画会議を踏まえアイデア出し→意見の分類→自分の一番したいことを1つホワイトボードに貼る→その中から意見を絞り行う目的を書いていく→簡単な報告書の作成を行った。8月26日のみかわまち納涼祭でイベントを実施する方向で決まった。



## 【青年ファシリテーターとの顔合わせ会と交流会】

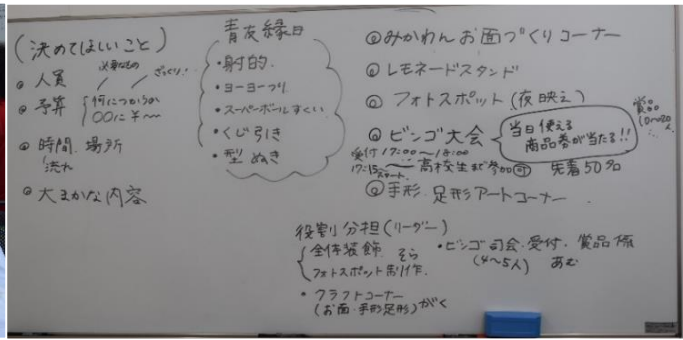
最初に自己紹介を行った。その後、子育て支援センターに移動し、ボランティア活動を実施した。内容は来館した幼児と一緒に遊ぶことで、工作やボール遊び、器具で遊ぶなどを行った。終了後会議室に移動し、交流会を実施した。ファシリテーターが考えてきたレクリエーションを行い、とても盛り上がる会となった。



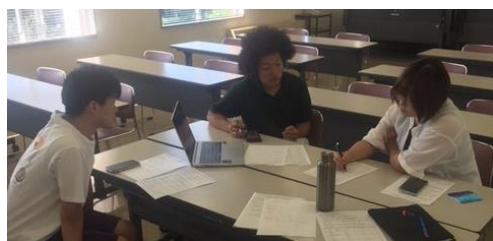
## 【第3回企画会議】

みかわまち納涼祭で行われるキッズタイム（子供たちが参加するイベント）で①山形レモネードスタンド②フォトスポット作成③ビンゴ大会④クラフトコーナーの4つを行うことに決定した。その後、役割分担をし、人員、予算、時間・場所、大まかな内容について話し合いを行った。青年ファシリテーターが中高生にアドバイスをしながら、準備しなければいけないことを決めていき、最後に全体で話し合いの内容を共有した。





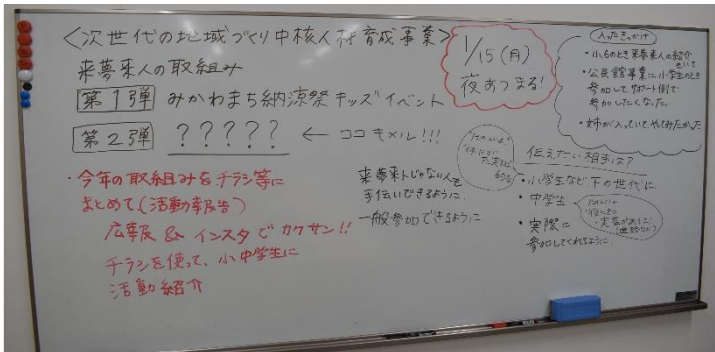
**【ファシリテーター実行委員会②】**



第2弾に向けて、どのような方向性で進めていくかを話し合った。また次の企画会議の内容や中高生への課題の提示の仕方や第2弾の地域活動プログラムはいつ頃実施するかなどのお話にもなった。

**【第4回企画会議】**

青年ファシリテーターから進行をしてもらい、第2弾の活動内容について話し合った。方向性として来夢来人の活動を中学生に伝えていきたいということになった。理由として積極的に活動に参加している人が固定しており、自分たちが高校を卒業した後の来夢来人が心配で、中学生に思いを引き継ぎたいという気持ちがあるようであった。そこで、来夢来人の活動を紹介する冊子を分担して作成することになり、次回の企画会議までにそれぞれでページを作成してくることとなった。



**【第5回企画会議】**

紹介冊子のページ作成作業を行った。話し合いの中で、来夢来人の紹介だけでなく、三川町で活躍している若者団体を紹介するページも入れることになった。また、紹介冊子のタイトルは「VOLO! (ウォロ)」に決定した。



### 3 地域活動プログラム

#### (1) 第1弾「みかわまち納涼祭でイベントを企画・運営しよう！」

##### ～子どもたちの思い出に残る納涼祭を目指して～

①開催日時：令和5年8月26日（水） 16：00 ～ 19：00

②参画者：来夢来人の中高生（12名） 青年ファシリテーター（3名）

#### ③活動内容

4年ぶり開催された、みかわ町納涼祭で、中高生が企画したプログラムを実施した。

「ビンゴ大会」では、司会者と高校生2名が中心となって進めた。先着50名のイベントであったが、すぐ定員を超える参加者が集まり、とても盛り上がった。「クラフト体験コーナー」では、手形・足形アートを行い、うちわに自分の手足を使って絵を描いていくことを行った。小さい子供たちが多く参加し、中高生が作り方を優しく教えている場面が見られた。「フォトスポット製作」では、材料を購入し木材や段ボールを組み立てて作成した。多くの参加者がその前で写真を撮っていた。「山形レモネードスタンドプロジェクト レモネード販売」は小児がん支援を目的としており、売上金の一部を支援団体に寄付するという活動で、その目的を理解し多くの参加者が購入していて、完売することができた。

イベント終了後、短い時間で反省会を行ったが、来夢来人の中高生たちから、自分たちで企画・運営し納涼祭を盛り上げたことへの達成感と充実感が感じられた。

#### 【準備の様子】



【本番の様子（活動の周知を目的として作成したお便りより）】

令和5年度 次世代の地域づくり中核人材育成事業 通信  
**来夢来人** 令和5年度 9月 発行No. 1  
 【問合せ】 庄内教育事務所 社会教育課 TEL:0235-68-1983(櫻井)  
**NEXT STAGE** ^

第1弾～納涼祭に向けてイベントを企画・運営しよう～

今年度の同事業は、三川町の中高校生ボランティアサークル「来夢来人」と一緒に活動しています。活動は第1弾と第2弾に分けて進めていきます。第1弾として8月26日(土)に三川町の「いろり火の里」で行われる納涼祭でのイベントの企画・運営を行いました。

次世代の地域づくり中核人材育成事業って何？  
 中高生が青年ファシリテーターとアイデアを出し合い、企画・運営をする活動を通して、地域活動への理解を深め、地域づくりの次世代のリーダーとしての資質を高めていくことを目的とした事業です。



第1回企画会議の様子です。付箋を使ってやってみたいこのアイデアを出し合い、出された意見のグループ分けを行いました。今後の方向性として「三川町のイベントで自分たちが考えた企画を行う」ということが決まりました。

第2回企画会議の様子です。今回は青年ファシリテーターの2名が中高生を導き、話し合いが進みました。今回の企画会議では、三川町で行われる「みかわまちな納涼祭」というお祭りで、来夢来人が企画したイベントを行うということが決まりました。



ファシリテーターとの顔合わせ会＆交流会の様子です。テオトルの中にある子育て支援センターに来館した子供たちと交流するボランティア活動を行った後に、ファシリテーターが考えてきたゲームを行いました。とても盛り上がり、親睦が深まりました。

第3回企画会議の様子です。納涼祭で行うキッズイベントを運営することになり、「ビンゴ大会」「フォトスポット」「クラフト体験」「レモネード販売」の4つを行うことが決定！担当を決め、分担して準備を進めました。夏休み期間中に、7回準備会を行いました。

令和5年度 次世代の地域づくり中核人材育成事業 通信  
**来夢来人** 令和5年度 9月 発行No. 2  
 【問合せ】 庄内教育事務所 社会教育課 TEL:0235-68-1983(櫻井)  
**NEXT STAGE** ^

第1弾～地域活動プログラム「納涼祭」大成功！～

フォトスポット製作

フォトスポットを制作しました。すべてから手作りです。多くの参加者が、写真を撮っていました。



ビンゴ大会運営

ビンゴ大会を企画・運営しました。先着50名のイベントでしたが、多数の参加希望があり、納涼祭を盛り上げるイベントの1つとなりました。



クラフトコーナー

クラフトコーナーとして、手形・足形アートを行いました。子どもたちが多く参加し、オリジナルのうちわを楽しそうに作成していました。



レモネードスタンド活動

小児がん支援として、売上金の一部を支援団体に寄付するという活動で販売しました。多くの方が活動に賛同し、購入してくれました。



次の活動は第2弾として何を考えるかを考えていきます。中高生からどんなアイデアが生まれてくるかとても楽しみです！

(2) 第2弾「三川町で活躍する若者団体の活動を小中学生に伝えよう！」

①開催日時：12月11日(月)～3月中

②参加者：来夢来人希望者 7名

③活動内容：

地元定着者を増やすために、三川町で活躍する若年団体の具体的な取り組みや活動の様子を、周知していきたいと考え、紹介冊子を作成することとなった。そして作成した冊子を三川町の小・中学校へ配布していく。

紹介冊子を通して若者の活動を発信することで、その活動に興味を持ち、参加してみたいという小・中学生を増やすことを目的とした。その結果、地域活動への理解と興味・関心が高まり、将来的に地元定着者の増加や、次世代の地域リーダーの育成に繋がるのではと考え、実施した。

＜山形県主催・次世代の中核人材育成事業＞

**来夢来人の活動を  
小中学生に広めよう！  
参加者募集のお知らせ！**

日時：12月11日(月) 18:30～20:00

※保護者の許可をもらってください！

場所：テオトル 会議室1・2

内容：納涼祭に続く、自主事業の打合せ

持ち物：筆記用具、その他各自必要なもの

参加する人は12月5日(火)まで、LINE公式アカウントにご連絡ください。当日の飛び込み参加もOKです！

来夢来人 LINE 公式アカウント→友だち登録してね！



来夢来人事務局◆64-8310 (テオトル内)



# 【紹介冊子 VOLO! (ウォロ) より抜粋】

Chapter 1



## 来夢人ってなに?

来夢人とは三河郡の中高校生がまつりやイベントに参加して活躍する。短期から半年以上の期間、活動する方です。年齢性別問わず地域貢献に貢献し、経験も積らせながら学ぶこと、地域を盛り上げることに貢献すること、が目的です。また、この活動を通して、自分たちの成長を促すこと、地域を盛り上げることに貢献すること、が目的です。



## 1年間の主な活動

- 4月 春の清掃、活動
- 5月 夏の清掃、活動
- 6月 秋の清掃、活動
- 7月 秋の清掃、活動
- 8月 秋の清掃、活動
- 9月 フォトスポット、活動
- 10月 秋の清掃、活動
- 11月 秋の清掃、活動
- 12月 秋の清掃、活動
- 1月 秋の清掃、活動
- 2月 秋の清掃、活動
- 3月 秋の清掃、活動



Chapter 1

## 子育て支援・乳幼児とのふれあい

・保育園施設訪問「わんぱく園とともぞう」(10回程度/年)  
・子育て支援センター訪問(10回程度/年)



保育園施設訪問「わんぱく園とともぞう」(10回程度/年)  
子育て支援センター訪問(10回程度/年)

保育園施設訪問「わんぱく園とともぞう」(10回程度/年)  
子育て支援センター訪問(10回程度/年)

Chapter 1

## RE:プロジェクト

来夢人では2021年7月から「RE:プロジェクト」という名前で開催している。RE:プロジェクトとは、環境問題や社会問題の解決に向けて、地域貢献活動を行うこと。また、この活動を通して、自分たちの成長を促すこと、地域を盛り上げることに貢献すること、が目的です。



この活動では来夢人や大人の方と一緒に活動しています。また、この活動を通して、自分たちの成長を促すこと、地域を盛り上げることに貢献すること、が目的です。

この活動では来夢人や大人の方と一緒に活動しています。また、この活動を通して、自分たちの成長を促すこと、地域を盛り上げることに貢献すること、が目的です。

Chapter 1

## イベント企画・スタッフ



## ピンゴ大会



来夢人ではイベントの企画や運営活動を行っています。また、この活動を通して、自分たちの成長を促すこと、地域を盛り上げることに貢献すること、が目的です。

来夢人ではイベントの企画や運営活動を行っています。また、この活動を通して、自分たちの成長を促すこと、地域を盛り上げることに貢献すること、が目的です。

Chapter 1

## 山形レモネード



## 来夢人は「山形レモネードスタンドプロジェクト」に参加しています!

この活動では来夢人や大人の方と一緒に活動しています。また、この活動を通して、自分たちの成長を促すこと、地域を盛り上げることに貢献すること、が目的です。



Chapter 1

## 三川の若者のココがすごい!



Chapter 2

## JA 庄内たがわ青年部

私たちはJA庄内たがわ青年部 三川支部! 活動の中心として、地域貢献活動を行っています。



Chapter 2

## 菜の花まつり

町のPRならおまかせ! イベント、メディアで活躍中! 活動の中心として、地域貢献活動を行っています。



Chapter 2

## VOLO!



## 4 事業振り返りとまとめ

### (1) 事業の成果

#### ①今後の地域活動への参画/参加に対する意識

問1 これからも地域活動で企画したり、運営したりすることに関わってみたいと思いましたが。(回答6名)

項目	人数(名)
とてもそう思う	5
そう思う	1
あまり思わない	0
思わない	0

#### 問2 問1の理由は何ですか。

- ・参加する側も楽しいけど、企画して喜んでもらえるのはもっと楽しいと感じたから。
- ・私たちの次の世代にもこのような活動を知ってもらい、繋げて欲しいと思うから。
- ・自分の地域が盛り上がることで発展と共に元からあったが知らなかったことなどより自分の住む場所を知ることができるから。
- ・私は高校生になって、来夢来人だけでなく、たくさんの地域活動に参加してきた。それぞれその活動内容が違っても、ゴールは全て地域をより良くしたいというものだった。すべての活動がとても楽しく、人生経験になった。最後の活動として、中学生に来夢来人や地域活動の良さをより多く伝えられるように頑張りたいから。
- ・自分たちで企画する活動がとても楽しかったから。
- ・自分はこれから福祉関係の仕事に就くための勉強をするために進学をするので、地域づくりなどにもっと関わって行きたいと考えている。大学のある地域に住むので地元のための活動に参加できなくなるかもしれないが、先輩たちを見習って積極的に参加したいと思ったから。

#### ②今年度の活動での気づき・今後の思い

【中高生より】

##### ○活動に取り組んでみて、気づいたこと・感じたことについて教えてください。

- ・自分たちで企画して一から準備するのが楽しかった。みんなの個性を生かすことができたと感じている。
- ・私たち若い世代の意見もどんどん取り入れてくれる環境だったので発言しやすかった。
- ・今回の活動を通じて、これから取り組みにはチームワーク、地域との結びつき、などが必要であることを実感した。これらの要素を組み合わせることで、より良い未来を築くことができると思った。
- ・年代関係なく、地域のつながりは大切だと感じる。今年度、納涼祭が復活し来夢来人も大きく貢献してイベントを盛り上げることができた。たくさんの方が来てくれて、みんなで楽しむことができた。町おこしという、貴重な経験が出来てとても楽しかった。また、企画から実行まで全てに関わることで、イベントを行うための準備や工程を知ることができ、視野を広く持てるようになった。

- ・年齢が離れている人と沢山関わるのは大切だと感じた。
  - ・企画会議では、普段の活動とは違って中高生だけでなく、大人の方やファシリテーターの方と顔を合わせて意見を出し合う事で、自分たちが活動に興味を持った理由やなぜ活動を続けているかを振り返ることが出来た。
- 納涼祭の準備・運営では、今まで納涼祭の時とは少し違った活動内容になったが、これまでの活動の経験をいかし、新しい活動にも積極的に取り組むことで良い思い出を作れたし、素晴らしい経験を積むことが出来た。
- 紹介冊子作りでは、小学生や中学生にどのようにして魅力を伝えるかを考える上で、これまでの活動を振り返る良い機会になった。自分が来夢来人のどのようなところを大事にしてきたのかをまとめることで魅力の再認識をすることが出来た。

## ○これまでの活動を振り返り自分がこれから地域づくりのためにできそうなこと・やってみたいことは何ですか

- ・地域のお祭りでのイベントの企画・運営。
- ・ボランティアに参加するだけでなく地域の歴史などを知る活動。
- ・山形県内にたくさんのボランティア団体があるので、団体同士の交流、企画、活動をしてみたい。
- ・来夢来人の活動に積極的に取り組むこと。
- ・来夢来人としての活動は終わりになるのでこれからはファシリテーターとして、活動の手伝いをしたい。今までとは違った視点から助言や手伝いを出来たらと思っている。やってみたい活動としては季節ごとの祭りの規模を大きくしたり、地域住民同士が関われるイベントを増やしたりすることをしてみたい。

### 【青年ファシリテーターより】

#### ○今年度来夢来人と活動を進める中で、ご自身が評価できること

- ・次世代事業の活動価値の言語化や生徒のやりたいことの方向性を整理したこと。
- ・子どもたちの考えややりたいと思ったことの整理を手伝えた。みかわまち納涼祭での出し物や企画と一緒に運営できた。参加していた生徒たちと一緒に作業を進めることができた。
- ・今年からの参加だったが、楽しく有意義に過ごせた。成果としては、自分自身の会話力などの成長が見られた。課題としては、ファシリテーターとしての周りを見る力を伸ばしたい。

## (2) 今年度の活動を振り返って (成果○ 課題▲)

- 青年ファシリテーターが、中高生の「やりたい」という思いを上手に引き出し、ファシリテートしてくれた。イベントにも積極的に関わってくれた。またサークル担当者の思いも尊重しながら進めてくれたことがありがたかった。
- 中高生たちは、初めて自分たちでイベントを企画・運営していくことを経験できた。準備や当日の運営をととても楽しんで行っている様子が見られた。地域のため自分たちができることを実施していくことの大切さを理解していた。
- 中高生の思いをくみ取り、活動紹介冊子という形で残すことができてよかった。
- ▲来夢来人は活発な定期活動を多く行っているため、次世代企画会議の日程を調整していくことが難しかった。

# ○未来の参画者養成事業

## 1. 開催要項とチラシ

令和5年度 次世代の地域づくり中核人材育成事業・未来の参画者養成事業

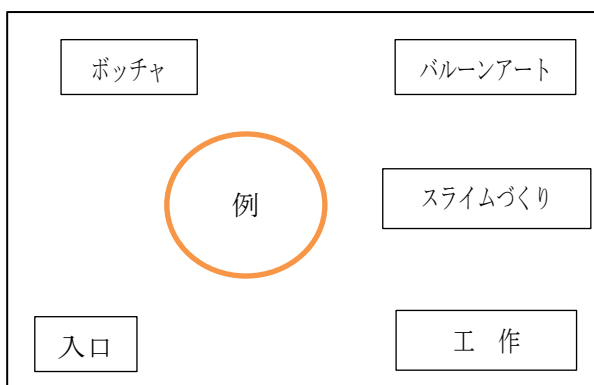
# Yボラ サマーチャレンジ in 庄内 開催要項

- ねらい 中学生に対してスキルアップ講座を行い、その学んだ内容をもとに小学生と交流することを通してボランティア活動の楽しさを実感し、周囲の仲間へ活動への参加を呼びかけるボランティアリーダーを育成する。そして青少年のボランティア活動の拡大を図る。
- 主催 山形県教育委員会
- 共催 遊佐町教育委員会
- 主管 庄内教育事務所
- 日時 令和5年8月2日(水) 9時00分～15時30分  
令和5年8月4日(金) 9時00分～15時30分
- 会場 令和5年8月2日(水)：鶴岡市朝暘武道館「大武道場」  
令和5年8月4日(金)：遊佐町生涯学習センター「大会議室」
- 対象 ○青少年ボランティアサークル会員  
○ボランティア活動や地域貢献活動に関心のある中学生
- 参加費用 保険料24円

### 9 日程

9:00	9:10	9:15	9:30	12:00	13:00	15:00	15:20	15:30
受付	開会	ボランティアサークル紹介	スキルアップ講座 (中学生対象)	昼休憩	YYフェスティバル (小学生との交流)	振り返り	閉会	

### 10 イメージ図



#### <講座内容>

- |          |    |              |
|----------|----|--------------|
| ①バルーンアート | 講師 | 庄内教育事務所社会教育課 |
| ②ポッチャ    | 講師 | スポーツ推進員      |
| ③スライム作り  | 講師 | 庄内教育事務所社会教育課 |
| ④工作      | 講師 | 日本国末端技術研究所   |

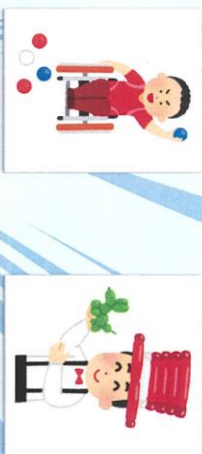
※事前に希望調査をとり、参加するスキルアップ講座を決定します。

- 11 その他 ○午前中に中学生のスキルアップ講座、午後に小学生とYYフェスティバルを行います。  
○中学生が、午前中に習った講座の内容をもとに小学生と活動します。  
○申込み方法は、FaxとQRコードでの申込みとし、締切は7月25日です。  
○小学生の参加については、遊佐町の小学校、鶴岡市の小学校を中心にチラシを配布します。  
○庄内全域の中学校へ参加を呼びかけます。

# “Yボラ”サマーチャレンジin庄内

申込締切  
7/25  
(水)

- ボランティア活動で役立つスキルを一緒に身に付けよう！
- 身に付けたスキルを生かして小学生と交流しよう！
- 興味のある方はぜひ参加してみてください！



鶴岡市朝暘武道館「大武道場」、遊佐町生涯学習センター「大会議室」を会場に、バレーンアート、スライム作り、ポッチャ、工作のワークを作り、子どもたちと交流をします。

# ボランティアに生かせるスキルを身に付けませんか？

- <内 容> スキルアップ講座&小学生との交流 (YY フェスティバル)
- <対 象> ボランティアに興味のある中学生
- <参加費用> 保険料24円
- <申し込み方法> 7月25日までに①②のいずれかの方法で申し込んでください

- ①裏面の参加申込書に必要事項を記入し、Faxでお申し込みください。
- ②QRコードよりお申し込みください。



日時 8月2日(水)、4日(金) 9:00~15:30  
場所 2日：鶴岡市朝暘武道館「大武道場」  
4日：遊佐町生涯学習センター「大会議室」



お問い合わせ 庄内教育事務所社会教育課 担当：櫻井 孝輔  
Tel：0235-68-1983 Fax：0235-66-3015 E-mail：sakurakosuo@pref.yamagata.jp

主催：山形県教育委員会 共催：遊佐町教育委員会 主管：庄内教育事務所

# Yボラサマーチャレンジin庄内

# YYフェスティバル

バレーンアート、スライム作り、ポッチャ、工作をやってみませんか？先生は中学生のお兄さんとお姉さんです！



バレーンアート

スライム作り

ポッチャ

工作

- ・ 8月2日(水)、4日(金) 13:00~15:30
- 2日：鶴岡市朝暘武道館「大武道場」
- 4日：遊佐町生涯学習センター「大会議室」

・ 参加費用 保険料24円

- <内 容> バレーンアート、スライム作り、ポッチャ、工作
  - <対 象> 庄内地区の小学生
  - <申し込み方法> 7月25日までに①②のいずれかの方法で申し込んでください
- ①裏面の参加申込書に必要事項を記入し、Faxでお申し込みください。  
②QRコードよりお申し込みください。



お問い合わせ 庄内教育事務所社会教育課 担当：櫻井 孝輔  
Tel：0235-68-1983 Fax：0235-66-3015 E-mail：sakurakosuo@pref.yamagata.jp

主催：山形県教育委員会 共催：遊佐町教育委員会 主管：庄内教育事務所

## 2. 事業日程

※鶴岡会場 熱中症対策のため

午前 : 小真木原総合体育館「大会議室」「第一多目的ホール」

午後 : 朝暘武道館「剣道場」に場所を変更

時刻	内 容	備 考
9:00	○受付開始	
9:10	1 開 会 【 5 分 】	 <p>(バルーン)</p> <p><input type="checkbox"/>バルーン<input type="checkbox"/>ポンプ (スライム)</p> <p><input type="checkbox"/>プラスチックコップ</p> <p><input type="checkbox"/>せんたくのり</p> <p><input type="checkbox"/>割りばし<input type="checkbox"/>ホウ砂</p> <p><input type="checkbox"/>水、お湯 (ボッチャ)</p> <p><input type="checkbox"/>ボッチャ</p> <p><input type="checkbox"/>ラインテープ (工作)</p> <p><input type="checkbox"/>両面テープ</p>
9:15	2 ボランティアについてお知らせ 【 5 分 】	
9:20	3 スキルアップ講座 前半 【 60 分 】 ①バルーンアート ②スライムづくり ③ボッチャ ④工作	
10:20	4 休憩 【 10 分 】	
10:30	5 スキルアップ講座 後半 【 60 分 】	
11:30	6 YYフェスティバルについて 【 20 分 】	
11:50	7 昼休憩 【 60 分 】	
11:40	8 (鶴岡会場) 中学生 剣道場に集合完了	
12:50	○受付開始 (小学生)	
13:00	9 開 会 【 10 分 】	
13:10	10 YYフェスティバル 前半 【 50 分 】 ①バルーンアート ②スライムづくり ③ボッチャ ④工作	
14:00	11 休憩 【 15 分 】	
14:15	12 YYフェスティバル 後半 【 50 分 】	
15:05	13 振り返り (中学生のみ) 【 20 分 】 ※小学生は解散	
15:25	閉 会 【 10 分 】 ・連絡 ・アンケート記入	
15:35	解 散	

### 3. 参加者の感想

#### <鶴岡会場>

- ・子どもたちと交流するのは少ないわけではないので、「私たちだったらみんなと上手くできる」と思っていたのですが、実際にしてみると緊張して上手く説明できなかつたので次もする機会があったら気を引き締めていきたい。
- ・小学生たちと関わることができて良かったし、小学生たちに上手く伝えることができるか不安だったけどみんなと協力することができて良かった。小学生も楽しそうで良かった。
- ・あまり自分より小さい子供たちと交流する機会がなく不安だったけど子供たちにどう伝えたら上手く伝わるか、楽しませられるかを考えて行動することができたので良かったです。良かったです。
- ・初めて挑戦することもあり大変だったけど結果として楽しめたので良かった。年下の子たちと関わるのは苦手意識があったけれど苦手じゃなくなった気がする。ボランティアをしてみるのも良いと感じた。楽しめた。
- ・今回のボランティアは一中の知り合いばかりだったので緊張せずに楽しく活動することができた。ただ小学生に教えるとなると言葉で説明することが難しかった。新しくできることが増えたので良かったです。
- ・最初は自分もできないことがたくさんあって、小さい子に教えられるか不安だったけど自分なりに楽しませてあげることができたと思うし、自分も一緒になって小さい子たちと成長できて良かったと思いました。自分自身も楽しむことができて良かったです。これからも機会があれば参加していきたいです。
- ・ボランティアに参加するのは初めてで小学生と関わる上でどのように接すれば良いかわからなくて不安だったけど自分なりの伝え方でみんなが楽しめるようにお話ししたりすることができた。更に自分も楽しみながらボランティアをすることができて良かったです。またこのような機会があったときに、自分から参加するようになりたいと思いました。
- ・初めてボランティア活動をしてみて小学生に教えるのは難しかったけど、自分なりに考えてすることができたし、小学生に楽しんでもらえたので良かった。とても良かったです。
- ・自分で実際に行うのは簡単だけれど、人に教えるということが難しいのを改めて知ることができました。また自分では教えているつもりでも小学生には伝わりきっていなかったりすることも難しかったです。でもしっかり教えられて小学生が楽しそうに遊んでくれていたのでとても嬉しかったです。今回はこのような機会をいただきありがとうございました。
- ・小学生のみんなにどうやったら楽しんでもらえるだろうかと考えながら活動していました。あまり話さない子も楽しんでくれているかな？と不安だったのですがみんな楽しかった！と言ってくれたので頑張ってた良かったと思いました。一人で大人数に説明するのは大変だったけど1年生や2年生でもできることが多くて驚きました。こうしたボランティア活動に参加するのは初めてだったのですが、学んだことも多く有意義な時間を過ごすことができました。
- ・久しぶりに小さい子たちと関わったので緊張したし不安でしたが、みんなとどうすれば楽しんでもらえるか考えてたくさん工夫できた。また、小さい子と遊んでいるとき、自分たちも楽しめたしボランティア活動の良さが自分なりに分かった気がした。これからもこのような機会があれば自分から積極的に参加したいと思いました。

- ・ボランティア活動に興味を持っていたけれど恥ずかしさ等もあってなかなか自分から参加することができませんでした。でも、このYボラサマーチャレンジは内容も雰囲気も気軽に参加できるような内容だったのが良かったです。初めてのボランティアでしたが、小さい子たちに教え、一緒にコミュニケーションをとることの大切さを学ぶことができました。また一緒に活動する人たちと協力して、互いに楽しみ、学ぶこともできて良い経験になった。これからも興味のあることに向かったり、ボランティアをして社会貢献ができたりできたら良いなと思いました。
- ・友達と来たわけでもなく、工作も教えるのが一人だしで最初は不安が大きかったけど小学生のみんながしっかり話を聞いてくれたおかげで私も小学生のみんなも笑顔になれました。小学生や幼稚園児の兄弟がいることもあり、関わり方が簡単でした。まだまだ夏休みはあるので他のボランティア活動にも参加してみたいと思います。楽しかったです。今日はありがとうございました。

## <遊佐会場>

- ・小さい子や高校生、他校の中学生との交流ができてとても楽しかったです。この経験を今後に生かしていきたいと思いました。
- ・小学生に教えたりするのが楽しかった。あまり人に教えたりすることはしないので良い機会になった。仲良くなったりできた。小学生も楽しそうで嬉しかったです。
- ・他校の生徒や小学生の子たちと楽しく交流することができました。小学生の目線に合わせて会話をしたり、伝えたりすることで、話しやすい環境をつくることができました。今日の活動を今後に生かしていきたいです。
- ・小学生の子供たちに教わったことを教えるのは難しかったけど同じチームの人と工夫しながら教えることができて良かったです。
- ・地域の人や子供たちと関わるのができて楽しかった。小さい子と目を合わせて一緒に遊んで楽しむことができて良かった。機会があったらまた参加したいです。
- ・元気でたくさん話してくれる小学生には「すごい！」とか相槌をうち、緊張している子には「好きな動物は？」など質問をすることで、たくさん話してくれた。みんな楽しそうで、自分も楽しくなった。
- ・他校の中学生との関りもできた。小学生と楽しく一緒に遊んだり、話したりできた。伝えるのが難しかったけど、今後に生かして頑張ろうと思った。次の活動も積極的に参加しようと思った。
- ・小学生のみんなが楽しめるように考えて行動できたので良かった。自分も楽しめたし、他校の生徒とも仲を深められて良かった。
- ・今回ボランティア活動に参加してみて、自分自身が今までしたことのない活動を体験することができた。また他の中学校、高校の人との交流や小学生との交流を深めて楽しく参加することができて良かったです。
- ・小学生との交流の他にも違う学校の中学生や高校生の方とも交流できて凄く楽しかった。小学生に教えるときに悩んでいたら他の子が助けてくれてありがたかった。またこのような自分の興味のあるボランティアだったら参加しようと思えた。
- ・自分自身ボランティア活動にとっても興味があったのですが、する機会がなく中学校内でしかすることができませんでした。今回、Yボラサマーチャレンジがあるということで参加してみようと思いました。その中で他校の人とも関わり、仲を深めることができたので良かったです。またこのような機会があれば参加したいです。



- ・初めてボランティア活動に参加してみて、ボランティア活動は、とにかく周りの人を巻き込んで楽しんで活動することが大切だと感じた。これから、この経験を生かしていきたい。
- ・バルーンアートは最初からできていたので、教えることが難しいと感じました。子供たちは手が小さいから思うように押さえることができなかったです。工作は両面テープを貼る場所指示するのが難しかったです。ボランティアは好きでこれからも参加していきたいと思います。
- ・初対面の人がほとんどで最初は緊張したけど、たくさんコミュニケーションをとって楽しく活動できて本当に良かったです。午後からの子供たちとの交流も伝わるように説明するのは難しかったけどみんなが楽しんでくれて良かったです。今日はとても貴重な体験ができました。ありがとうございました。

【庄内教育事務所社会教育課 公式 Instagram より】



## 4. 参加者アンケート

開催日 8月2日(鶴岡会場) 4日(遊佐町会場) 中学生 26名 高校生1名 計27名 参加

### ① Y ボラサマーチャレンジに参加しようと思ったきっかけは何ですか。(複数回答可)

		回答数(人)	回答率
1	ボランティア活動に興味があったから	16	25%
2	学校や先生のすすめで	9	15%
3	友達に誘われて	14	23%
4	お家の方のすすめで	1	2%
5	活動内容に興味を持ったから	11	18%
6	チラシを見て興味を持ったから	7	11%
7	他校の生徒(児童)と交流したかったから	2	3%
8	その他	2	3%

計 62

### 8 その他(理由)

・かざみどり通信を見て ・中学校のアンケートに書けるため

### ② Y ボラサマーチャレンジの内容はいかがでしたか。

		回答数(人)	回答率
1	大変よい(大変満足)	27	100%
2	よい(満足)	0	0%
3	あまりよくない(あまり満足ではない)	0	0%
4	よくない(満足ではない)	0	0%

### ③ 今後もボランティア活動に参加してみたいと思いますか。

		回答数(人)	回答率
1	積極的に参加したい	10	37%
2	機会があれば参加したい	17	63%
3	あまり参加したくない	0	0%
4	参加したくない	0	0%

### ④ 今後、ボランティア活動を企画したり、運営したりすることに関わってみたいと思いますか。

		回答数(人)	回答率
1	とても思う	11	41%
2	思う	14	52%
3	あまり思わない	2	7%
4	思わない	0	0%